

三宅島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

<噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ>

三宅島では、6月17日に山頂火口直下を震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、その後は少ない状況が続いています。

火山活動は低下しており、雄山環状線内側に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、本日（18日）11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

防災上の警戒事項等：

火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内¹⁾及び主火孔から500m以内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。

1) 山頂火口内とは、雄山山頂にある火口及び火口縁から海岸方向に約100mまでの範囲を示します。

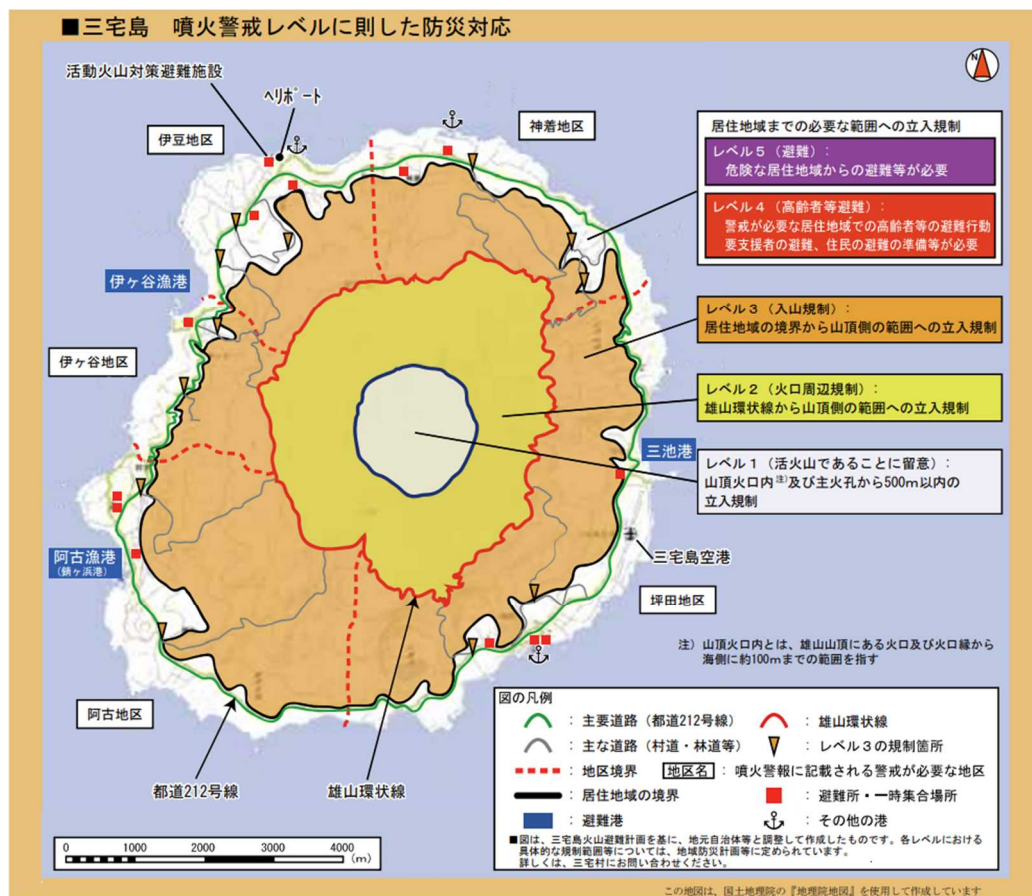


図1 三宅島 噴火警戒レベルに則した防災対応

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

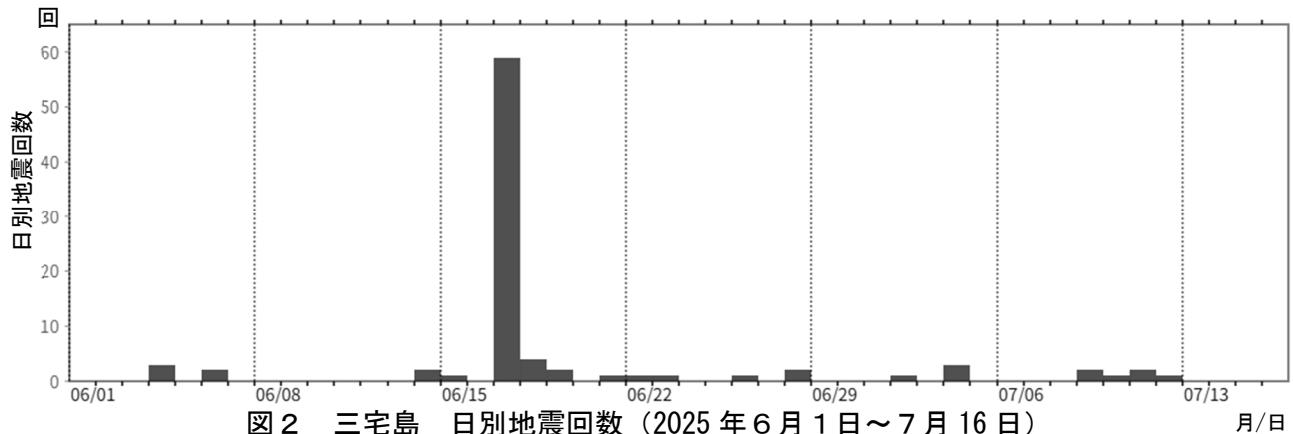
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。

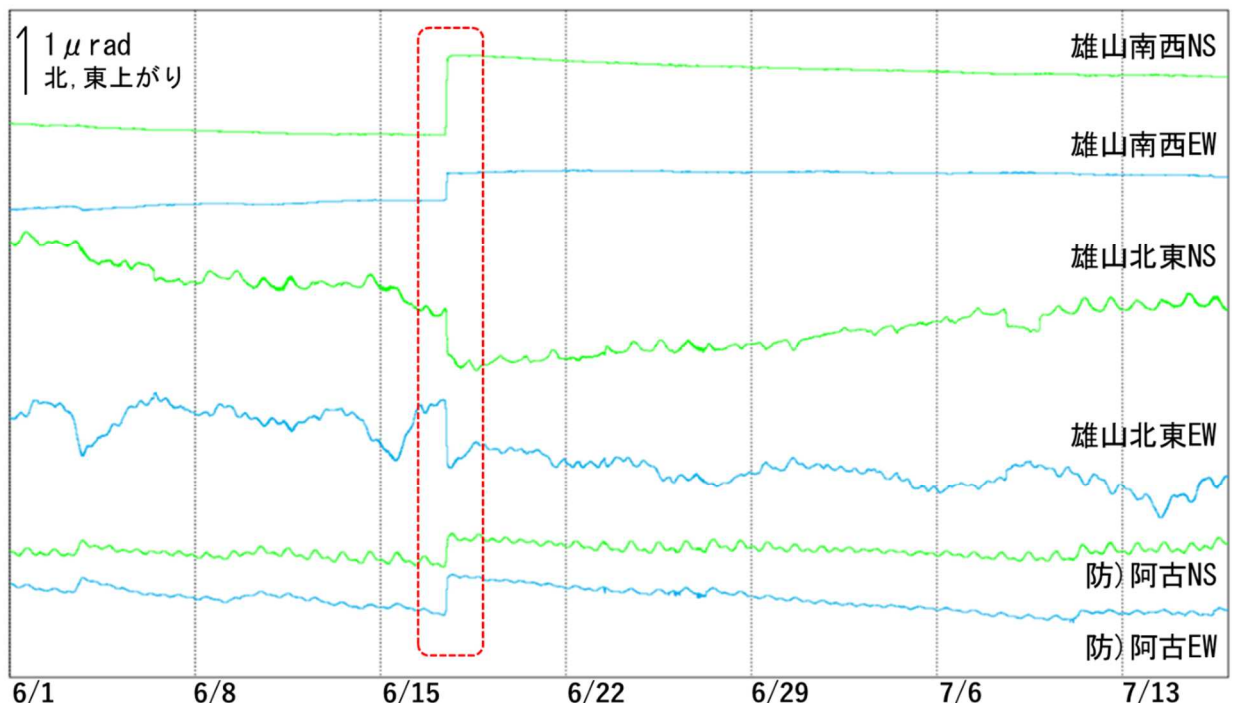
○活動概況

三宅島では、6月17日に山頂火口直下を震源とする火山性地震が一時的に増加し、傾斜計による観測で山頂付近の隆起を示すと考えられる地殻変動が認められましたが、18日以降地震活動は低下しており、傾斜計でも特段の地殻変動は認められません。また、監視カメラによる観測及び7月8日に実施した現地調査では、山頂火口内の地形、噴気及び地熱域の状況に特段の変化は認められていません。

これらのことから、雄山環状線内側に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、本日（18日）11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。



- ・ 6月17日10時頃から14時頃にかけて地震が増加し、合計で59回観測しました。18日以降、地震は少ない状況で推移しています。



- ・ 6月17日11時頃から13時頃にかけて、雄山南西、雄山北東及び阿古（防）で山頂付近の隆起を示すと考えられる変動が認められました（赤破線内）。その後、特段の傾斜変動は認められていません。

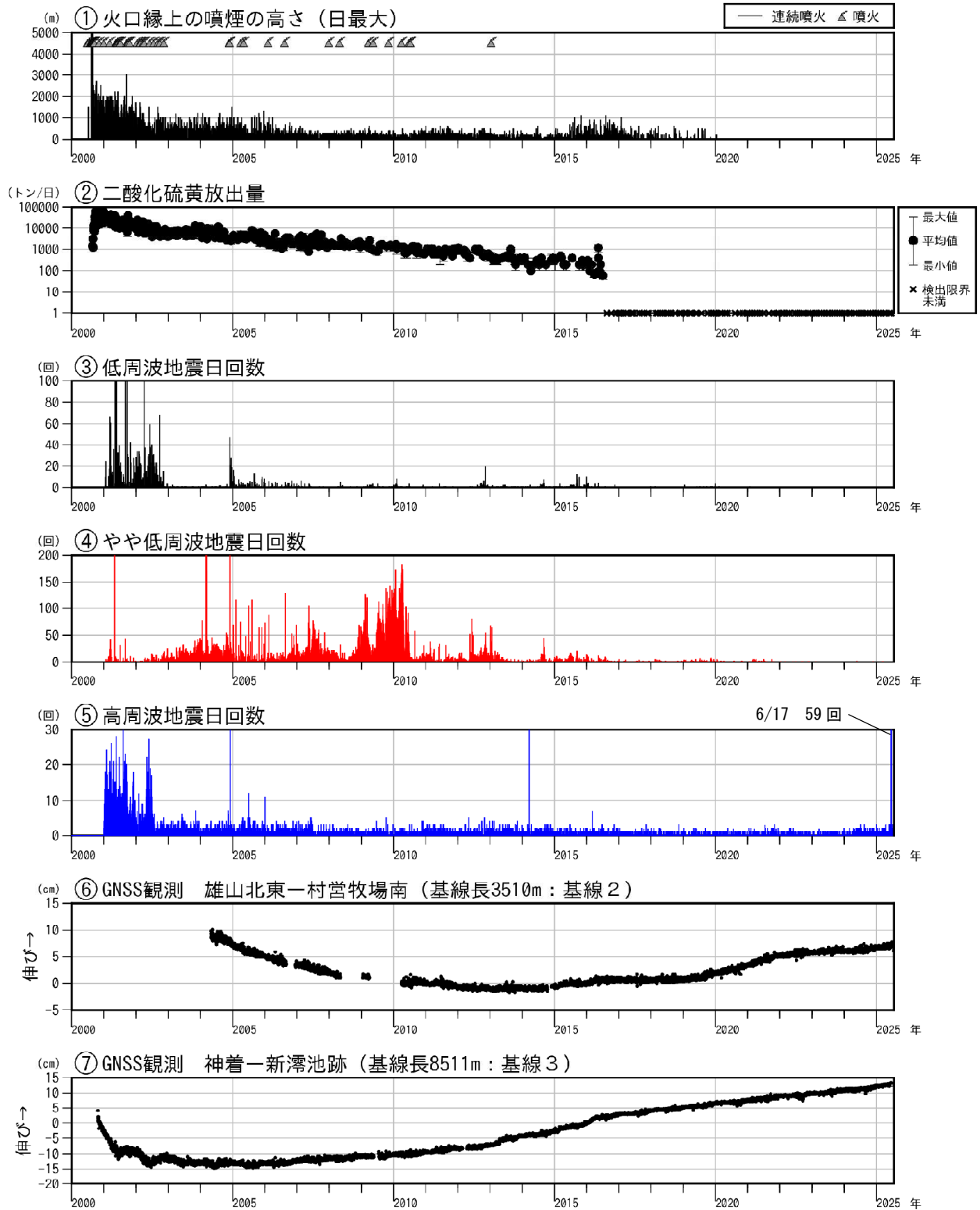


図4 三宅島 長期の火山活動経過図（2000年1月1日～2025年7月16日）

- ・ 噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いています。
- ・ GNSS 連続観測では、山体浅部の膨張を示す変動が 2019 年頃からみられていましたが、2023 年頃からは停滞しています（⑥基線2）。一方、山体深部の膨張を示す地殻変動は 2006 年頃から継続しており、地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます（⑦基線3）。

(前ページ 図4の説明)

図4② ×は数十トン程度以下、もしくは検出限界以下を示します。2005年11月まで、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成しています。
図4③④⑤ 地震の種類別にデータを掲載しています。計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載しています。

* 火山性地震の計数基準

- 2012年7月まで：雄山北東の上下動成分で最大振幅 $12\mu\text{m/s}$ 以上
- 2012年8月～11月：雄山南西の上下動成分で最大振幅 $5.5\mu\text{m/s}$ 以上
- 2012年12月～2024年3月：雄山南西の上下動成分で最大振幅 $6.0\mu\text{m/s}$ 以上
- 2024年4月～：雄山南西の上下動成分で最大振幅 $1.5\mu\text{m/s}$ 以上

図4⑥⑦ 2010年10月及び2016年1月に解析方法を変更しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

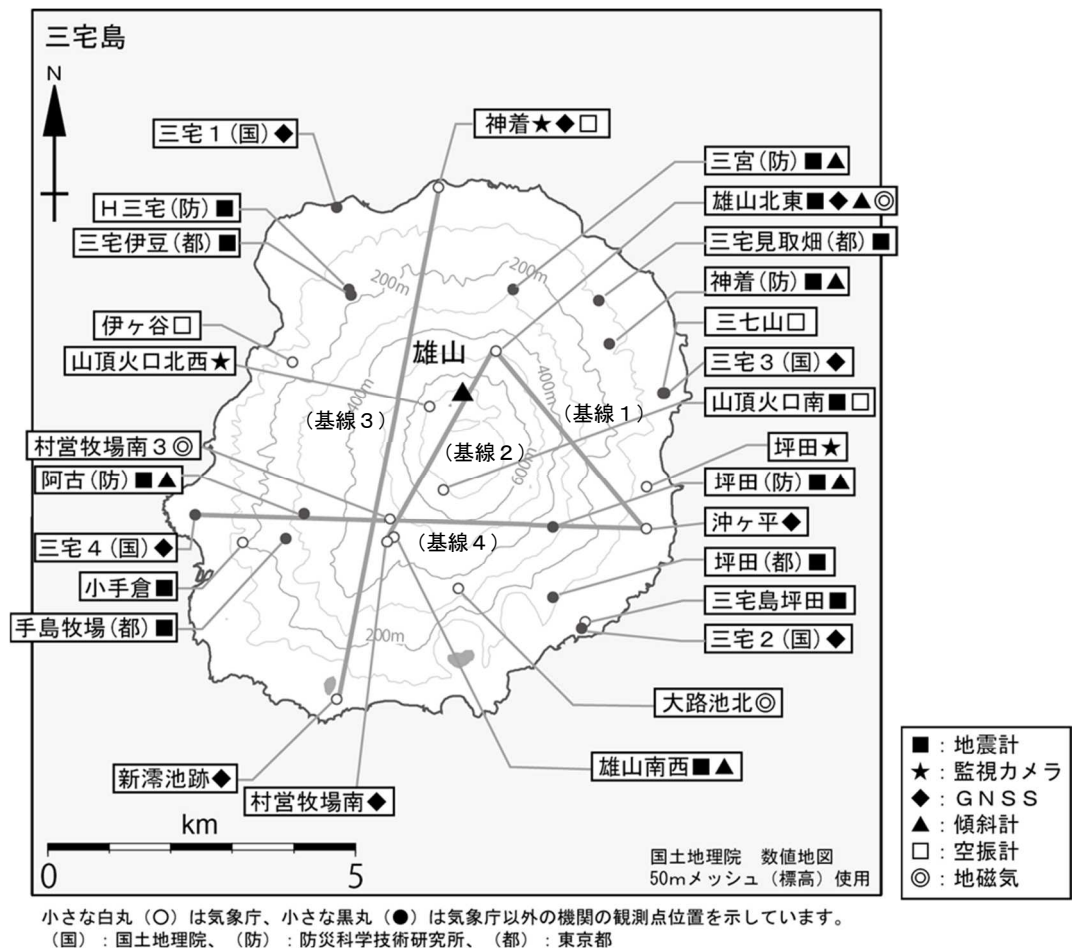


図5 三宅島 観測点配置図

※図中の直線は、図4のGNSS基線を示します。